

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第129号

平成30年8月22日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：045-263-4470






夏だ！「科学の祭典」だ！②

前号に引き続き、8月12日(日)、青少年センターで行われた「青少年のための科学の祭典 2018 神奈川大会」の報告です。今年は、台風の発生が多いため、天候の心配もありましたが、曇天だったものの降雨はなく、外を利用した団体も無事に終わられました。

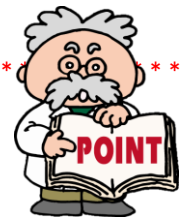
23団体26出展の紹介

科学工作、実験体験、実験ショーなど盛りだくさんの「科学の祭典2018」でした。各ブースの様子です。
(タイトル等、一部省略したものがああります。)

<p>10 新・線香花火を作ろう 線香花火同好会</p>  <p>火薬類と異なる炭酸カリウムを使って調合された薬品を用いて、伝統的な線香花火と同じような花火を作りました。</p>	<p>11 紫外線チェックストラップ 科学あそび隊</p>  <p>紫外線が当たると色が変わるビーズを使って、紫外線を検知する紫外線チェックストラップを作製しました。</p>	<p>12 UMO マシンをつくろう セミナー修了生 竹内 英太</p>  <p>磁石を利用して、Uite（浮いて）、Mawaseru（回せる）、Omosiro（面白）マシーン=UMO を作りました。</p>
--	---	---

子ども達に大人気！「実験ショー」3出展

工夫を凝らした実験が、実演者の語りやパフォーマンスによってさらに魅力を増し、子ども達ばかりではなく、大人からも驚きの声や大きな拍手が沸き起こった実験ショーでした。3団体による全8公演の実験ショーを紹介します。



<p>13 楽しい真空実験ショー 東海大学チャレンジセンター</p>  <p>身の周りの空気をなくして「真空」にしたら何が起きるか？簡単な装置で真空を作り出し、観客に楽しんでもらいました。</p>	<p>14 いろみずマジック はまぎん こども宇宙科学館</p>  <p>紫キャベツで指示薬を作り、酢や洗剤などに入ると、違う色に！色が変わる実験を通して液体の性質を調べました。</p>	<p>15 空気のふしぎ 高校生科学ボランティア</p>  <p>青少年センター科学部の小学生向け講座などのボランティアスタッフとして括約する高校生による実験パフォーマンス！</p>
--	--	---




【参加者のアンケートから】

- すごく楽しくて勉強になりました。ありがとうございました。
- やりたいことをほとんどできて楽しくってうれしかった。すばらしいです！！スタッフの方々もとても親切で、夏休みの楽しい思い出となりました。
- 予約がいっぱいで参加できないものがあつたので、また来たいです。
- もっと並び方を工夫すると全体がよく回ると思います。ふだんも使える物、家に帰ってからも実験できるものをふやしてほしい。
- 今日、初めて参加したけれど、楽しかったし思い出がたくさん残りました。
- とてもおもしろかった。理科がもっとおもしろく感じました。よかったと思います。
- 初めてやったことがいっぱいだったから楽しかったです。ありがとうございました。
- 毎年子どもと参加しています。今年も楽しかったです。
- すべておもしろいしどれも楽しいです。



- どれもいけない説明でおもしろかったです。
- 夏休みの自由研究にできるのでよかったです。勉強になりました。
- 中学生たちまで参加していてすごいなと思いました。実験解説集がすばらしい。
- 子供が楽しそうでした。
- つくって持って帰れるのがよかった。
- 異分野の方々と話すことが出来てとても勉強になりました。
- 毎年参加していますが、子供がとても楽しそうにしている、とてもいいイベントだと思います。
- 昨年も参加しましたが、また内容が充実したと感じました。子供も満足しました！ありがとうございます。
- すべてにおいて身になることでのめりこむような体験ばかりだった。
- 小学校入学前の6歳ですが、係の方が親切にしてくれたのでどれも楽しく体験できました。
- 一日小学生が楽しめました。ありがとうございました。



<p>16 電波の発信源を探せ 紅葉ヶ丘無線クラブ</p>  <p>無線の発信源(箱)をキツネにみたてて、モールス符号の間こえる箱を探しました。宝探しゲームのように楽しみました。</p>	<p>17 磁石を使った工作 日本技術士会 神奈川県支部</p>  <p>小学校で習う砂鉄を使った磁力線の観察を通じて、磁石のS極とN極について簡易磁力計を作りながら学びました。</p>	<p>18 不思議なコマ 日本技術士会 神奈川県支部</p>  <p>重心、光の干渉、錯覚という科学原理の異なる3つの現象を、「コマ」という身近な工作を通じて学びました。</p>
---	---	---

事務局から

今号で紹介した「15 空気のふしぎ」は、5人の高校生による演示実験でした。事前に何回も練習し、前日にはインターンシップ大学生や他のスタッフ約20人を観客に見立ててリハーサルを行いました。そして当日。元気な子ども達(観客)に盛り上げてもらいながら、無事にパフォーマンスを成功させました。高校生たちもこの機会を通じて、大きく成長できたように感じます。
(事務局：村上、高相、山田、宮城)



事務局(科学部)移転